

令和 5 年度  
兵庫教育大学大学院同窓会総会

第 42 回

全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】

大会テーマ 『学心研道』—変化の激しい不透明な時代における教育の課題と我らの使命—



主催 兵庫教育大学大学院同窓会  
主管 兵庫教育大学大学院同窓会 大阪・奈良・和歌山支部  
共催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会  
会期 令和5年8月5日(土)・6日(日)  
会場 大阪府教育会館(たかつガーデン)  
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-1 1  
TEL: 06-6768-3911

## 第42回 兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】

大会テーマ 『学心研道』—変化の激しい不透明な時代における教育の課題と我らの使命—

主 催 兵庫教育大学大学院同窓会  
主 管 兵庫教育大学大学院同窓会 大阪・奈良・和歌山支部  
共 催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会  
会 期 令和5年8月5日（土）・6日（日）  
会 場 大阪府教育会館（たかつガーデン）  
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-1 1 TEL：06-6768-3911

### 日 程

#### 第1日目8月5日（土）

12：00～13：00 受付  
13：00～14：00 大学院同窓会総会  
14：10～17：45 全国研究大会 開会行事、表彰式  
学長挨拶及び講話  
兵庫教育大学学長 加治佐 哲也 氏  
教育実践発表  
① 立命館大学 嘱託講師 山田 文乃 氏  
② 奈良県葛城市立新庄中学校 指導教員 三宅 康文 氏  
③ 湯浅町立山田小学校 校長 長田 和浩 氏  
閉会行事  
17：45～18：00 記念写真撮影  
18：15～20：15 教育懇話会（情報交換会）

#### 第2日目8月6日（日）

9：00～ 9：30 受付 近鉄奈良駅（東出口上る：「行基像」前広場）  
9：30～12：45 巡検 猿沢の池～興福寺・国宝館～昼食  
13：00 解散 近鉄奈良駅

責任担当：山中賢司 090-6323-3960

### 目 次

総会次第 .....	1
会長挨拶 .....	2
総会議案 .....	3
令和4年度退任役員 .....	13
大学院同窓会会則 .....	14
全国研究大会次第 .....	19
実行委員長挨拶 .....	20
教育実践等に係る表彰受賞者 .....	21
学長講話 .....	22
教育実践発表 .....	23
大学への寄付のお願い .....	26
令和6年度総会・全国研究大会のお知らせ .....	28
あとがき .....	29

# 令和5年度 兵庫教育大学大学院同窓会総会

令和5年8月5日（土） 13:00～  
於 大阪府教育会館（たかつガーデン）

## 総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
  - 1号議案 支部代表選出に関する細則の改正
  - 2号議案 令和5年度 役員
  - 3号議案 令和4年度 事業報告
  - 4号議案 令和4年度（第41期） 会計決算報告
  - 5号議案 令和5年度 事業計画
  - 6号議案 令和5年度（第42期） 会計予算案
4. 退任役員への感謝状贈呈
5. 令和6年度総会・第43回全国研究大会【盛岡大会】開催予告
6. その他
7. 閉会

## 大学院同窓会活動の活性化に向けて

兵庫教育大学大学院同窓会長 新居 寛

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。ひとことご挨拶を申し上げます。先ずは、本日、公私ご多用の中、加治佐学長様はじめ、大学の役職員の皆様にご来賓としてご臨席たまわりましたことに深く感謝申し上げます。我々兵庫教育大学大学院同窓会に、今後ともお力添えいただきたく存じます。

さて、この4年間は、臨機応変な対応、時として場当たりの対応ととられかねない危なっかしい舵取りをしてまいりました。就任当初の4つの重点も思うようになりませんでした。就任半年後から、新型コロナという未知のウイルスが世界中で猛威をふるい同総会活動の妨げとなりました。そんな中で、リモート会議、メール会議等で活動を継続してまいりました。新型コロナの脅威がなくなるまでの間は、このような対応を余儀なくされるでしょう。この間、専横な行動を厳に慎み小さな改革を積み重ねてまいりました。ご理解・ご協力、よろしく申し上げます。

ところで、これまで本学は創立以来、日本の教育を代表する学術の専門性、実践において常に注目され、高い評価を受けてきました。同窓生が日本の教育を支えているといっても過言ではありません。そして、教職大学院の先陣を切り、教育諸課題に関する難局を乗り越えるべく、教育のトップリーダーとして勇往邁進しています。

同窓会といたしましても、同窓会の機能や同窓生のネットワークを存分に活用し、母校発展と社会貢献の一翼を担いたいと考えています。特に以下の四点に重点を置き、初心を忘れず、同窓会活動を推進していくつもりです。

まず、第一に、変化の激しい時代に柔軟に対応できる学び続ける同窓会、同窓生であるということです。第二に、大学に貢献できる同窓会であるために、毎年、全国大会を開催し、兵庫教育大学の教育活動、教育推進を支援するとともに、大学の認知度をさらに高めることです。第三に、同窓生の中で立派に研究実践されている方を表彰し、支援することです。本日の大阪・奈良・和歌山大会では、地元での実践活動を発表していただくことになっております。そして、四点目は、同窓会会則や各部の動き、ブロック体制の見直しなどを含めて検討し、令和5年度中に、新たな指針と具体策を示して、実行していくことでさらに活性化していくことです。しかし、これらの目標の達成は役員だけではできません。皆様のお力添えが不可欠です。同窓生の皆様におかれましても、これまで以上に同窓会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただきますよう心からお願い申し上げます。

本日の全国研究大会が成功裏に終わりますよう、ご協力よろしく願いいたします。

## 1号議案

提案 赤字の部分を追加する。

### 支部代表選出に関する細則（案）

（昭和 59 年 8 月 24 日制定）

（目的）

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日より施行）第 9 条第 2 号の規定に基づき、支部代表の選出について必要な事項を定めることを目的とする。

（選出方法）

第 2 条 支部代表の選出方法は次のとおりとする。

- 1 各都道府県支部において、それぞれ 1 名を選出する。ただし、政令指定都市等で別途支部代表が必要な場合は役員会の承認を得て 2 名以上とすることができる。
- 2 大阪府支部及び兵庫県支部においては、支部の必要に応じて支部代表を 3 名まで選出できる。
- 3 各支部は、選出した支部代表名を総会までに同窓会事務局へ報告する。報告がない場合は前任者の留任とみなす。

附 則 本細則は平成 9 年 8 月 23 日改正

本細則は平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

本細則は令和 5 年 8 月 5 日に改正し、令和 5 年 6 月 1 日から適用する。

## 令和5年度 兵庫教育大学大学院同窓会役員（案）

会 長	新居 寛（兵庫）				
副 会 長	専門部長代表 船本秀忠（兵庫）		ブロック長代表 渡邊哲郎（山口）		
専門部長	組織部長 梶原正史（山梨）	総務部長 船本秀忠（兵庫）	研究部長 大前泰彦（和歌山）	会計部長 佐々木勇（岡山）	広報部長 大畑和典（広島）

相 談 役	武 泰稔（岡山）	吉田 廣（兵庫）	大橋 博（兵庫）	川村庸子（岩手）
-------	----------	----------	----------	----------

監 事	監事長 北山鎮道（岡山）	監事 田中嘉明（兵庫）	監事 中園大三郎（大阪）	監事 毛利直巳（島根）
-----	-----------------	----------------	-----------------	----------------

事務局長	山口 文和（兵庫）	院生協代表	小林裕人（前期会長）	村上優奈（後期会長）
------	-----------	-------	------------	------------

ブロック	理事				
	ブロック長	副ブロック長			
北海道・東北	小山文明（岩手）	水野和男（北海道）	村石好男（宮城）	後藤あゆみ（北海道）	柏崎勇人（秋田）
			山本 勉（岩手）	岩井澤通代（岩手）	
関東	清水政義（東京）	小川 孝（埼玉）	野田不二夫（東京）	向井 隆盛（埼玉）	牧 雅英（千葉）
中部・東海 （組織部）	森 社（岐阜）	下條英子（福井）	松村敏幸（岐阜）	勝俣得男（静岡）	山田達夫（静岡）
近畿① （総務部）	仲島尚子（兵庫）	村瀬敏則（京都）	八木真由美（兵庫）	大中美幸（兵庫）	西井一雄（兵庫）
			山口偉一（兵庫）	池上誠朗（兵庫）	
近畿② （研究部）	雲井 稔（大阪）	徳永加代（大阪）	村田卓生（大阪）	和田博之（大阪）	松田雅代（大阪）
			上田 幸司（大阪）	竹原章雄（大阪）	
近畿③ （研究部）	岸本秀章（奈良）	大前泰彦（和歌山）	山中賢司（奈良）	三宅康文（奈良）	西端幸信（和歌山）
東中国・四国 （会計部）	鷺見寛幸（鳥取）	野村ゆかり（高知）	藤原彰二（鳥取）	小田幸伸（岡山）	後藤陽三（愛媛）
			門屋 浩（愛媛）		
西中国 （広報部）	渡邊哲郎（山口）	津田和也（広島）	藤原尚幸（島根）	勝田 章（島根）	兼房高広（広島）
			波佐間 清（山口）	西川敏之（山口）	
九州・沖縄	草場聡宏（佐賀）	船津勇一（大分）	藤本岳大（福岡）	川崎健二（佐賀）	

※青字は新任役員、緑色は再選出役員

支 部 代 表			
北海道	水野 和男	京 都	村瀬 敏則
青 森	西澤 亨一	兵 庫	船本 秀忠
岩 手	山本 勉		尼子 尚公
宮 城	渥美 寿彦		仲島 尚子
秋 田	高橋 正規		村田 卓生
山 形	本田 礼	大 阪	井上 温子
福 島	人選中		和田 博之
茨 城	吉田 重郎		奈 良
栃 木	駒田 郁夫	和歌山	西端 幸信
群 馬	青木 雅夫	鳥 取	藤原 彰二
埼 玉	小川 孝	岡 山	小田 幸伸
千 葉	牧 雅英	徳 島	田村 明敏
東 京	野田不二夫	香 川	野島 悟
神奈川	児玉 祥一	愛 媛	武田 明敏
新 潟	碓井 欣一	高 知	野村ゆかり
富 山	人選中	島 根	毛利 直巳
石 川	人選中	広 島	津田 和也
福 井	下條 英子	山 口	渡邊 哲郎
山 梨	梶原 正史	福 岡	藤本 岳大
長 野	人選中	佐 賀	草場 聡宏
岐 阜	中西 茂治	長 崎	平戸 健吉
静 岡	神尾 義敬	熊 本	八間川隆彦
愛 知	加藤 有悟	大 分	小池 楠男
	榊原 貴久(名古屋)	宮 崎	衣笠 高広
三 重	大森 雅彦	鹿児島	松山 武史
滋 賀	西谷 淳	沖 縄	津留 一郎

※明朝体は前ページ役員等との兼務

※青字は新任支部代表

## 令和4年度 事業報告(案)

※ [加東]: 加東Cで対面開催、[Zoom] Zoomでオンライン開催、[加東・Zoom] 加藤CとZoomのハイフレックス開催

年月日		全体行事・専門部等事業	大学との連携事業	
R4 6月	1(水) 初旬 初旬 中旬 18(土)	院生協 R4 前期総会/船本副会長出席 第40期会計決算報告(案)作成=会計部 第41期会計予算(案)作成=会計部 会計監査 定例役員会 [加東・Zoom]	9(木) 中旬 中旬 18(土)	修了生・卒業生連携センター会議① (以後「センター会議」と記述) [Zoom] 大学院同窓会研究助成金の採択事務 共同研究採択通知, 事務手続 連携会議 [加東・Zoom]
7月	下旬	本部役員会(総会準備) [メール]		
8月	6(土) 上旬 上~中旬	R4 総会・第41回全国研究大会【愛知県大会】 [アイリス愛知・Zoom] 教育実践研究表彰状・記念品、退任役員 感謝状・記念品送付(希望者) 会報編集計画, 記事収集=広報部		
9月	30(金) 下旬	R4 後期助成金申請期限 都道府県別大学院同窓会名簿の作成	中旬 下旬	大学院同窓会研究助成金の採択事務
10月	初旬	R4 後期助成金予算配分委員会 [メール]	20(木)	共同研究論文集「学校教育コミュニティ第12号」発行
11月	12(土) 下旬	本部役員会 [神戸・Zoom] ブロック・支部活動状況調査=組織部		
12月	上旬 7(水)	「同窓会入会案内」冊子作成 院生協 R4 後期総会/船本副会長出席		
R5. 1月	下旬	支部会員名簿送付(希望支部)		
2月	初旬 初旬 18(土)	ブロック・支部活動状況調査まとめ=組織部 会報編集会議=広報部 本部役員会 [Zoom]	17(金)	大学院同窓会研究助成金による研究成果発表会/事務局出席
3月	初旬 20(月) 31(金)	同窓会報(第47号)発行=広報部 教育実践研究論文集 Vol.4 発行 =研究部・事務局 R5 表彰推薦・教育実践研究論文提出期限	23(木)	学位記授与式/船本副会長来賓出席, 教育実践研究論文集・同窓会報等配布・ピンズ等配布
4月	5(水) 22(土) 28(金)	入学式/船本副会長来賓出席 被表彰者選考委員会 [Zoom] R5 前期助成金申請期限(前期)	初旬 28(金)	R4 修了生・卒業生, R5 新入生の個人情報 データ調査 R4 共同研究報告書, R5 共同研究 提出期限
5月	中旬 21(日) 下旬	R5 前期助成金予算配分委員会 [メール] 本部役員会 [神戸・Zoom] 全国大会案内・会報等送付(全修了生)	中旬	共同研究選定委員会

- ① 専門部会や支部の総会・研修会を随時開催した。
- ② 同窓会情報の発信や会員連絡ツールとしてメールやHyokyo-netを活用した。
- ③ 会員情報は修了生・卒業生連携センターで管理した。
- ④ 会員情報の変更はHyokyo-netやメール (office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp) で常時受け付けた。
- ⑤ 支部は修了生・卒業生連携センターと協力し、会員の不明情報(支部は一覧を保持)の補完に努めた。

# 令和4年度 ブロック・支部活動報告

対象期間 2022年1月～2023年5月

支部	活動日			場所・方法	活動内容等	参加人数
	年	月	日			
岩手県	2023	1	7	サンセール盛岡 (ハイフレックス)	「教育・学びの未来を創造するスクール・プラットフォーム 岩手大会」 ○講演 「社会に開かれた教育課程の実現のために ～教員養成大学の挑戦～」 講師 吉水 裕也 氏(兵庫教育大学副学長) ○グループ討議 テーマ「学校・家庭・地域・行政の連携の在り方を考える」 ○パネルディスカッション テーマ「学校・家庭・地域・行政の連携の在り方を考える」 ア パネリスト 吉水 裕也 氏(兵庫教育大学副学長) 伊藤 晃二 氏(宮古市教育委員会教育長) 菅野 祐太 氏(大槌町教育専門官) 村上 可織 氏(陸前高田市立高田東中学校前PTA会長) イ コーディネーター 日渡 円 氏(兵庫教育大学特任教授)	36
京都府	2023	2	19	キャンパスプラザ 京都	支部研修会 (1)京都府支部の歩み 会員 (2)兵庫教育大学院の改革 同窓会事務局長 (3)研究発表 現M2院生(派遣)代表	11
大阪府	2022	3	27	大阪府教育会館	全国大会「準備会」 内容 ○組織について ○日時等 ○大会規模 ○内容(総会・記念講演・研究発表等) ○情報交換会(懇親会)について ○巡検 等	6
		7	2	大阪府教育会館	総会 ○活動・会計報告 ○全国大会進捗状況 講演会 ○「最近の教育改革について」 兵庫教育大学長 加治佐 哲也	25
	10	15	大阪市立難波市民 学習センター	第1回実行委員会 内容 ○メンバー自己紹介 ○経緯報告 ○日程、会場、組織編成 ○大会の概要 ○情報交換会 ○研究紀要の刊行 等	17	
	2023	1	21	大阪市立難波市民 学習センター	冬季 教育懇談会 ○自己紹介 ○研究報告 ○情報交換会	36
和歌山県	2022	8	21	ハイフレックス方式 和歌山信愛大学 オンライン(ZOOM)	令和4年度 和歌山県支部総会 令和4年度 和歌山県支部研修会 研究発表タイトル「特別支援学校のチーム・ティーチングにおけるABCフレームを用いた支援目標と手立ての共有の効果」 発表者 井上里佳 先生 (第37期)	140
島根県	2022	1	29	島根県民会館	第15回松江ブロック研修会「地域に学び、未来を共に 拓く生き方を問い続ける社会科学習」提案発表	2
		3	26	同上	第16回松江ブロック研修会 読書会「問いへの教育」(O.F.Bollnow)に学ぶ	2
		7	30	同上	松江ブロック7月研修会 同上	3
		8	21	zoom	県研修会&山口県支部・広島県支部共催 加治佐哲也学長講演会「新しい時代の初等中等教育のあり方」	7
		10	1	島根県民会館	松江ブロック10月研修会 読書会「問いへの教育」(O.F.Bollnow)に学ぶ	5
	2023	1	28	同上	松江ブロック1月研修会 特別支援教育についての研修会を予定	4
		3	25	同上	松江ブロック3月研修会 特別支援教育研修会②	5
		5	27	同上	松江ブロック5月研修会 特別支援教育研修会③	5

※役員会、打合せ会、懇親会等は記載していません。

## 4号議案

## 令和4年度（第41期）会計決算報告（案）

自 令和4年6月1日 ～ 至 令和5年5月31日

## 【一般会計】

## (収入の部)

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	摘要
会費	3,839,120	3,854,120	15,000	令和4年度会費 257名
繰越金	3,291,017	3,291,017	0	第40期会計より繰越
共同研究経費	1,200,000	1,128,050	△ 71,950	共同研究経費の全額16件
雑収入	0	41	41	預金利息
収入合計	8,330,137	8,273,228	△ 56,909	

## (支出の部)

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	残額 (円)	摘要	
総務部	役員会費	600,000	466,915	133,085	役員会旅費 (6,11.5月)
	事務費	25,000	1,870	23,130	両替手数料
	総務部計	625,000	468,785	156,215	
研究部	印刷製本費	250,000	159,960	90,040	教育実践研究論文集vol.4
	事務費	30,000	440	29,560	振込手数料
	研究部計	280,000	160,400	119,600	
広報部	会報印刷費	250,000	218,284	31,716	同窓会報47号
	事務費	10,000	440	9,560	振込手数料
	広報部計	260,000	218,724	41,276	
組織部	ブロック会議経費	100,000	54,280	45,720	2ブロック
	支部活動助成金	300,000	277,893	22,107	11支部
	事務費	40,000	5,500	34,500	振込手数料
組織部計	440,000	337,673	102,327		
事務局費	渉外費	15,000	0	15,000	
	印刷費	120,000	70,270	49,730	同窓会案内 総会関係冊子等
	旅費	200,000	19,480	180,520	院生協総会副会長出席旅費等
	事務費	100,000	63,400	36,600	感謝状・記念品・zoom契約料・需用費・会議費等
事務局費計	435,000	153,150	281,850		
総会運営費	500,000	600,000	△ 100,000	愛知50万円 大阪・奈良・和歌山10万円	
院生協活動助成費	100,000	100,000	0	院生協活動の補助	
兵庫教育大学研究助成金	1,000,000	1,000,000	0	一人20万円×5名	
共同研究経費	1,200,000	1,128,050	71,950	16名	
計	4,840,000	4,166,782	673,218		
予備費	3,490,137	0	3,490,137	予算の予備費は(収入合計) - (支出合計)で計上している。	
支出合計	8,330,137	4,166,782	4,163,355		

収入決算合計	8,273,228 円
支出決算合計	4,166,782 円
差引残高	4,106,446 円

差引残高は、第42期一般会計の収入（繰越金）に充てます。

### 【運営積立金会計】

運営積立金は、同窓会活動の継続および必要不可欠な出費に備えて平成29年6月より定額預金（10年満期）として預けているものです。

現在高

科目	金額（円）	摘要
預入額①	10,190,000	平成29年6月5日預入
貯金利子②	6,022	預入日～令和5年5月までの利子
税額③	922	
税引後元利合計金額 (①+②-③)	10,195,100	

運営積立金は、次年度も継続して預けます。

以上 第41期一般会計および運営積立金会計について報告いたします。

兵庫教育大学大学院同窓会  
同

会 長 新居 寛  
会計部長 佐々木 勇

### 会計監査報告

第41期一般会計及び運営積立金会計を監査した結果、正確であることを認めます。

令和5年5月31日

兵庫教育大学大学院同窓会  
同  
同  
同

監事長 北山 鎮道  
監 事 田中 嘉明  
監 事 中園大三郎  
監 事 毛利 直巳

## 令和5年度 事業計画 (案)

※ [神戸] : 神戸Cで対面開催、[Zoom] Zoomでオンライン開催、[神戸・Zoom] 加藤CとZoomのハイフレックス開催

年月日		全体行事・専門部等事業	大学との連携事業	
R5 6月	5(月) 7(水) 初旬 中旬 17(土)	全国大会案内・会報等送付(全修了生) 院生協前期総会/会長出席 R4 会計決算報告・R5 予算案作成=会計部 会計監査=監事 定例役員会 [神戸・Zoom] =総務部(準備・進行 以下同様)	5(月) 5/31 初旬 中旬 17(土)	大学資料送付(全修了生) 修了生・卒業生連携センター会議① [Zoom] 大学からの資料送付(修了生全員) 共同研究採択通知, 事務手続 連携会議 [神戸・Zoom]
	7月	下旬		
8月	5(土) 6(日) 中旬	総会・第42回全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】[大阪府教育会館] =大阪・奈良・和歌山支部 巡検(奈良方面) 会報編集計画, 記事収集=広報部	5(土)	教育実践研究表彰・学長講話
	9月	30(金) 下旬		
9月	下旬	R5 後期助成金申請期限 都道府県別大学院同窓会名簿の作成 =事務局	中旬	大学院同窓会研究助成金の採択事務
10月	初旬	R5 後期助成金予算配分委員会 [メール]	上旬	共同研究論文集「学校教育コミュニティ第13号発行
11月	18(土) 下旬	本部役員会 [神戸・Zoom] =総務部 ブロック・支部活動状況調査=組織部		
12月	初旬 初旬	同窓会入会案内作成=事務局 院生協 R4 後期総会/会長来賓出席	中旬	同窓会入会案内送付
R6 1月	初旬 下旬	支部会員名簿作成=事務局 支部会員名簿送付(希望支部)=事務局		
	2月	初旬 初旬 17(土)	中旬	研究助成金による成果発表会/事務局出席
3月	初旬 初旬 31(日)	同窓会報(第48号)発行=広報部 教育実践研究論文集 Vol.5 発行 R6 表彰推薦書・論文提出期限	22(金)	学位記授与式・謝恩会 /会長来賓出席, 教育実践研究論文集・同窓会報等配布
	4月	下旬 30(火)		
4月	下旬 30(火)	被表彰者選考委員会 R6 前期助成金申請期限	3(水) 初旬 30(火)	入学式・新入生歓迎会/会長来賓出席 R5 修了生・卒業生, R6 新入生の個人情報データ調査 R5 共同研究報告書, R6 共同研究申請期限
5月	中旬 18(土) 下旬	R6 前期助成金予算配分委員会 本部役員会 [神戸・Zoom] =総務部 全国大会案内・会報等送付(全修了生)	中旬 下旬	R6 共同研究選定委員会 大学資料送付(全修了生)

- ① 専門部会は随時開催する。
- ② 同窓会情報の発信や会員連絡ツールとしてメールやHyokyo-netを活用する。
- ③ 会員情報は修了生・卒業生連携センターで管理する。
- ④ 会員情報の変更はHyokyo-netやメール (office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp) で常時受け付ける。
- ⑤ 支部は修了生・卒業生連携センターと協力し、会員の不明情報の補完に努める。

## 6号議案

## 令和5年度（第42期）会計予算（案）

自 令和5年6月1日 ～ 至 令和6年5月31日

## 【一般会計】

## (収入の部)

科目	41期決算額 (円)	42期予算額 (円)	摘要
会費	3,854,120	3,689,120	令和5年度同窓会費
繰越金	3,291,017	4,106,446	第41期会計より繰越
共同研究経費	1,128,050	1,000,000	大学より入金
雑収入	41	34	預金利息
収入合計	8,273,228	8,795,600	

## (支出の部)

科目	41期決算額 (円)	42期予算額 (円)	摘要	
総務部	役員会費	466,915	600,000	役員旅費等
	事務費	1,870	25,000	需用費・旅費・会議費等
	総務部計	468,785	625,000	
研究部	印刷製本費	159,960	250,000	教育実践研究論文集vol.5
	事務費	440	30,000	需用費・旅費・会議費等
	研究部計	160,400	280,000	
広報部	会報印刷費	218,284	250,000	同窓会報48号
	事務費	440	10,000	需用費・旅費・会議費等
	広報部計	218,724	260,000	
組織部	ブロック会議経費	54,280	100,000	ブロック活動の支援
	支部活動助成金	277,893	300,000	支部活動の支援
	事務費	5,500	40,000	需用費・旅費・会議費等
	組織部計	337,673	440,000	
事務局	渉外費	0	15,000	慶弔費等
	印刷費	70,270	100,000	同窓会案内 総会関係冊子等
	旅費	19,480	30,000	会長来賓出席旅費等
	事務費	63,400	250,000	感謝状・記念品・zoom契約料・需用費・会議費等
事務局費計	153,150	395,000		
総会運営費	600,000	500,000	補助金：大阪・奈良・和歌山40万円 岩手10万円	
院生協活動助成費	100,000	100,000	補助金：院生協議会	
兵庫教育大学研究助成金	1,000,000	1,000,000	寄附金：院生への研究助成金 20万円×5人	
共同研究経費	1,128,050	1,000,000	共同研究採択者に給付	
支出合計	4,166,782	4,600,000		
予備費	0	4,195,600	予備費は予算の（収入合計）－（支出合計）で計上している。	
総計	4,166,782	8,795,600		

【運営積立金会計】

運営積立金は、同窓会活動の継続および必要不可欠な出費に備えて平成29年6月より定額預金(10年満期)として預けているものです。

現在高 10,195,100 円を継続して預けます。支出の予定はありません。

以上 第42期一般会計および運営積立金会計について提案いたします。

令和5年8月5日

兵庫教育大学大学院同窓会	会 長	新居 寛
同	会計部長	佐々木 勇

## 令和4年度 退任役員

同窓会役員をお務めいただき、本会の発展にご尽力くださいました次の方々が、令和4年度末をもって役員を退かれました。本部活動はもとより、支部活動の牽引役としてその功績は非常に大きいものです。これまでのご貢献に深く感謝の意を表します。

また、一定の要件を満たされた方には感謝状と記念品をお贈りいたします。

氏名	支部	期	退任時の役職
棚澤 実	北海道	20	北海道・東北ブロック理事
千田 健一	宮 城	7	北海道・東北ブロック理事
松尾 鉄城	埼 玉	1	関東ブロック理事
荒井 豊	埼 玉	2	関東ブロック理事
林 信行	石 川	26	石川県支部代表
猪瀬 洋一	長 野	12	長野県支部代表
玉木 隆	岐 阜	2	組織部長、中部・東海ブロック理事
幸脇 直久	岐 阜	2	中部・東海ブロック長、理事
鈴木 均	愛 知	4	愛知県支部代表
尾崎 文雄	兵 庫	11	近畿①ブロック長、理事
横内 恵	兵 庫	6	近畿①副ブロック長、理事、兵庫県支部代表
竺沙 敏彦	京 都	20	近畿①ブロック理事
北村 純一	兵 庫	28	近畿①ブロック理事
五百住 満	兵 庫	30	近畿①ブロック理事
岡 みゆき	兵 庫	32	近畿①ブロック理事
唐錦 秀和	奈 良	14	近畿③ブロック理事
後藤世志哉	宮 崎	17	宮崎県支部代表

# 兵庫教育大学大学院同窓会会則

(昭和 57 年 2 月 24 日制定)

## 第 1 章 総 則

- 第 1 条 この会は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「本会」という。）と称する。
- 第 2 条 本会は会員相互の親睦を図るとともに、大学との連携を推進して、学校教育に関する諸問題について意見を交流することを目的とする。
- 第 3 条 本会は前条の目的を達成するための次の事業を行う。
- 1 総会及び研究会の開催
  - 2 会報等の発行
  - 3 その他本会の目的達成に必要な事業

## 第 2 章 会 員

- 第 4 条 本会の会員は次のとおりとする。
- 1 正会員
  - 2 特別会員
- 第 5 条 正会員は兵庫教育大学大学院修了者及び在学者とする。
- 第 6 条 特別会員は兵庫教育大学に在職又は在職した教職員とする。

## 第 3 章 役 員

- 第 7 条 本会に次の役員を置く。
- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1 相談役    | 若干名                   |
| 2 会長     | 1 名                   |
| 3 副会長    | 2 名                   |
| 4 専門部長   | 各部 1 名                |
| 5 ブロック長  | 各ブロック 1 名             |
| 6 副ブロック長 | 各ブロック 1 名             |
| 7 理事     | 若干名（同窓会事務局長，院生協代表を含む） |
| 8 監事     | 若干名（内 1 名を監事長とする。）    |
| 9 支部代表   | 各支部 1 名               |

- 第 8 条 役員の仕事は次のとおりとする。
- |          |                            |
|----------|----------------------------|
| 1 相談役    | 会務全般の相談に応じる。               |
| 2 会長     | 本会を代表し会務を掌理する。             |
| 3 副会長    | 会長を補佐する。                   |
| 4 専門部長   | 本会の運営にあたり，専門部の会務を司る。       |
| 5 ブロック長  | ブロック内支部間の調整を図り，ブロックの会務を司る。 |
| 6 副ブロック長 | ブロック長を補佐する。                |
| 7 理事     | 本会の運営にあたる。                 |
| 8 監事     | 本会の会計及び事業を監査する。            |
| 9 支部代表   | 支部の会務を司る。                  |

- 第 9 条 役員を選出方法は次のとおりとする。
- 1 第 7 条第 1 項から第 8 項の各役員は，役員選考委員会で選考し，総会において承認する。
  - 2 支部代表は，各都道府県支部において選出する。支部代表選出に関し必要な事項は，別に定める。

- 第 10 条 役員の仕事は、2 年とする。
- ただし、欠員を生じた場合の後任の役員の仕事は、前任者の仕事の残余の期間とする。
- 2 前項の規定による役員は，再任されることができる。
  - 3 会長については，3 期（6 年）を上限とする。

#### 第4章 役員選考委員会

第11条 役員選考委員は、役員の中から選出する。同選考委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第5章 顧問

第12条 本会に顧問を置くことができる。

第13条 顧問は特別会員の中から若干名を会長が委嘱する。

第14条 顧問は会務に関し会長の諮問に応ずる。

#### 第6章 会議

第15条 総会は正会員をもって構成し本会の重要事項を審議・議決する。

2 総会が開催できない場合は、役員会での審議・議決をもって総会の審議・議決に代えることができる。ただし、以後の総会で報告しなければならない。

第16条 役員会は第7条に規定する役員をもって構成し、本会の重要事項を審議する。

第17条 本部役員会は、第7条に規定する役員のうち、会長、副会長、専門部長、ブロック長、副ブロック長（ただし、専門部を設置していない4ブロック）、監事長、事務局長、院生協代表をもって構成する。

2 本会の重要事項に関して審議し、企画・運営の調整を図るものとする。

第18条 議事はすべて出席者の過半数をもって決する。

#### 第7章 専門部

第19条 第3条に規定する事業を実施するため、専門部を置く。

2 専門部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第8章 ブロック・都道府県支部・部会

第20条 本会はブロックを置く。

第21条 本会は都道府県に支部を置く。

第22条 本会は専攻コースに部会を置く。

第23条 ブロック・支部・部会に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第9章 会計

第24条 本会の経費は会費及びその他の収入をもって充てる。

第25条 正会員は入会時に会費として1万5千円を納める。ただし、納入された会費は返還しない。

第26条 本会の会計は一般会計と特別会計（総会会計）とする。

第27条 本会の会計年度は毎年6月1日に始まり、翌年の5月31日に終わる。

#### 第10章 雑則

第28条 本会則の変更は総会の決議による。

第29条 本会の運営に関し必要な事項は役員会が別に定め、総会に報告する。

第30条 本会の事務局を兵庫教育大学におき、事務局長が事務を統括する。

附 則 本会則は、昭和57年2月24日に制定する。

中略

平成25年8月3日に改正し、平成25年6月1日から適用する。

” 26年8月9日改正

令和元年8月3日改正

令和3年7月31日改正し、令和3年6月1日から適用する。

# 兵庫教育大学大学院同窓会専門部運営に関する細則

(平成 25 年 8 月 3 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 19 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(専門部)

第 2 条 本会に次の専門部を設ける。

- 1 総務部
- 2 会計部
- 3 研究部
- 4 広報部
- 5 組織部

(専門部の構成・担当ブロック)

第 3 条 各専門部は、部長と理事により構成する。

2 専門部の担当ブロックは、原則として、次のとおりとする。

- (1) 総務部 近畿①ブロック  
(滋賀県, 京都府, 兵庫県)
- (2) 会計部 東中国・四国ブロック  
(鳥取県, 岡山県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県)
- (3) 研究部 近畿②・近畿③ブロック  
(大阪府, 奈良県, 和歌山県)
- (4) 広報部 西中国ブロック  
(島根県, 広島県, 山口県)
- (5) 組織部 中部・東海ブロック  
(新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県)

(専門部の役割)

第 4 条 本会の目的を達成するため、次の役割を担って専門部会の活動を行う。

- 1 総務部 会務に関する一般事務並びに総会及び諸会議の開催事務に関すること。
- 2 会計部 会計事務に関すること。
- 3 研究部 学校教育の諸問題を主題とした研究会及び研究上の情報交換に関すること。
- 4 広報部 会報の編集及び発行に関すること。
- 5 組織部 組織の整備に関すること。

# 兵庫教育大学大学院同窓会ブロック組織に関する細則

(平成 24 年 7 月 28 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「同窓会」という。）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 23 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(ブロック)

第 2 条 同窓会は、組織の単位として、次の各号に掲げるブロックを置く。

- (1) 北海道・東北ブロック  
北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県
- (2) 関東ブロック  
茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県
- (3) 中部・東海ブロック  
新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県
- (4) 近畿①ブロック  
滋賀県，京都府，兵庫県
- (5) 近畿②ブロック  
大阪府
- (6) 近畿③ブロック  
奈良県，和歌山県
- (7) 東中国・四国ブロック  
鳥取県，岡山県，徳島県，香川県，愛媛県，高知県
- (8) 西中国ブロック  
島根県，広島県，山口県
- (9) 九州・沖縄ブロック  
福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

(ブロック長及び副ブロック長)

第 3 条 各ブロックにブロック長を 1 人及び副ブロック長を 1 人置き、同窓会理事の中から、役員選考委員会において選考する。

2 ブロック長は、次の各号に掲げる任務を行う。

- (1) 各ブロック内での活動の統括・連携及び連絡調整に関すること。
- (2) 各ブロック内での支部の活性化及び支部の支援に関すること。
- (3) 各ブロックとの連携に関すること。
- (4) その他各ブロックに関すること。

3 副ブロック長は、ブロック長を補佐する。

(代表ブロック長)

第 4 条 同窓会長は、ブロック長の中から代表ブロック長を指名する。

2 代表ブロック長は、各ブロック長との連絡調整を行う。

附 則 本規則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

## 支部代表選出に関する細則

(昭和 59 年 8 月 24 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日より施行）第 9 条第 2 号の規定に基づき、支部代表の選出について必要な事項を定めることを目的とする。

(選出方法)

第 2 条 支部代表の選出方法は次のとおりとする。

- 1 各都道府県支部において、それぞれ 1 名を選出する。
- 2 大阪府支部及び兵庫県支部においては、支部の必要に応じて支部代表を 3 名まで選出できる。
- 3 各支部は、選出した支部代表名を総会までに同窓会事務局へ報告する。報告がない場合は前任者の留任とみなす。

附 則 本細則は平成 9 年 8 月 23 日改正

本細則は平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

## 役員選考委員会運営細則

(昭和 58 年 8 月 27 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 11 条の規定に基づき、役員選考委員会の運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(任務)

第 2 条 役員選考委員会は次期役員を選考し、役員会です承を得た後、総会に報告することを任務とする。

(役員選考委員の選出)

第 3 条 役員選考委員は、役員の中から若干名を互選する。

附 則 本細則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

令和5年度



## 兵庫教育大学大学院同窓会 全国研究大会

開催日 令和5年8月5日(土)・6日(日)  
於 大阪府教育会館(たかつガーデン) 他

### 大会次第

第1日目 8月5日(土) 14:10 ~ 17:45

1. 開会行事
  - (1) 主催者挨拶
  - (2) 来賓挨拶・来賓紹介
2. 教育実践研究活動等に係る表彰
3. 学長講話  
「兵庫教育大学の新しい取組」  
兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也 氏
4. 教育実践発表
  - (I) 「小学校低学年における多文化共生教育の可能性と課題」  
発表者：立命館大学 嘱託講師 山田 文乃 氏
  - (II) 「中学校『特別の教科 道徳』の授業設計  
—初任者指導教員の視点から—」  
発表者：奈良県葛城市立新庄中学校 指導教員 三宅 康文 氏
  - (III) 「つながろう湯浅！」  
—人と人がつながる家庭教育支援—」  
発表者：湯浅町立山田小学校 校長 長田 和浩 氏
5. 閉会行事
6. 記念写真撮影 17:45 ~ 18:00
7. 教育懇話会(情報交換会) 18:15 ~ 20:15  
(音楽ライブ 出演：花平ゆき)



第2日目 8月6日(日) 9:00 ~ 13:00

- 受付 9:00 近鉄奈良駅(東出口上る:「行基像」前広場)
- 巡検 9:30 近鉄奈良駅~猿沢の池~興福寺・国宝館~昼食
- 解散 13:00頃 近鉄奈良駅
- 備考
- ・近鉄奈良駅までの往復交通費は各自でお願いします。
  - ・巡検参加費 3,700円(拝観料・昼食代)、当日集合場所にて徴収します。

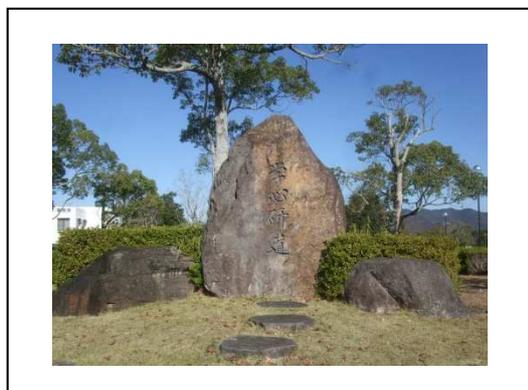
# 「学心研道」の心を一つにして

第4 2回大阪・奈良・和歌山大会実行委員長 樋口洋三

兵庫教育大学大学院同窓生のみなさん、関係者のみなさんこんにちは。

第4 2回になります全国研究大会を、今年度は大阪・奈良・和歌山の3支部合同で、開催することとなりました。同窓生の皆さまにおかれましては、全国各地ですばらしい教育実践を展開されているものと拝察いたしております。

今回は、現下の情勢・行政側の指導等を考慮しつつ、念願であった会員皆様の対面方式の大会にもどして開催することとなりました。しかも、できるだけ簡素化を図り、全国各支部においても、全国大会が開催できる方式を目指しております。



さて、上の写真は、大学への通路正面にあります「学心研道」の碑ですが、大学創立から2代目の学長先生の時に設置されたと記憶しております。碑文の「研道」に特に注目をします。もと東京文理科大学の石山脩平氏は、「師道に生きるところに教師の生命がある」と、とされました。ですから、この碑文も「学心師道」となるところでした。教員のための大学として、質の高い教員養成大学として、現職教員の学び直しの大学院として、出発しています本学のよりどころです。しかし、「師道」から「研道」へとすすめる理念は、「研」にあります。辞書を見ますと、「研」には、①とぐ、みがく②理をきわめる。③はげみつとめる、との意味をもっていることが記載されています。教育は、教師の一方的な指導を中心とした教師中心主義から、教師と児童・生徒との密接不離の同時進行であり、教育同行の営みであり、はげみつとめるとの理念が秘められています。

現下の学校教育の課題は、各方面にわたり、重層的な様相をしめしています。報道等におきましても教育問題がでないときがないほど話題に事欠かない毎日です。学校現場における教員側の問題、児童・生徒側の問題、教育方法・内容の課題、各教育委員会・文部科学省等教育行政側の問題等解決が急がれるものばかりです。

多岐にわたる今日的教育課題がありますが、「学心研道」の気持ちで、どのようにすれば解決の糸口がつかめるのか、具体的な研究発表・意見交流の場を通して考えていきたいと思っています。さらに、情報交換の機会におきましても、一層の深まりのあるものにしていただくと願っております。

皆さまのなお一層のご活躍とご発展を祈念しております。

令和5年（2023年）8月5日

## 教育実践研究活動等に係る表彰受賞者

本表彰は平成 22 年から実施しています。兵庫教育大学大学院学校教育研究科の修士本人または構成員とする団体の教育実践研究活動等における顕著な成果や功績に対して、学長と同窓会長の連名で表彰を行うものです。令和 5 年度は役員推薦 2 名、教育実践研究論文 3 名が受賞されました。

### 役員推薦

賞	氏名	主な教育実践研究活動	専攻・コース・期
嬉野賞	酒井 喜八郎 (愛知県)	南九州大学人間発達学部子ども教育学科 講師 ・名古屋市立小中学校教員として社会科教育により主体的に考え自主的に行動する態度を育てることに努め成果を収めた。 ・自身の実践を教育研究会、教育学会、教育専門誌で発表することにより多くの教員の指導方法の創意工夫に貢献した。とりわけ名古屋市社会科教育研究会で共に活動した教員たちはリーダー的存在となった。 ・本学大学院修了後は、名古屋市の社会科教育活動の中心として教育課程の推進に努め、名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程の単位取得満期退学後は南九州大学人間発達学部子ども教育学科で教育方法学の研究と教員養成に携わっている。	教科・領域教育専攻 社会系コース 13 期
嬉野賞	樋口 洋三 (大阪府)	・2002 年 4 月より 3 年間、文部科学省より中国・天津日本人学校校長として派遣され、学校移転や日本人学校としては例をみないという部活動の創設等にも尽力した。 ・帰国後、日本人学校校長経験者として、文部科学省主催の各種研修会や講習会の講師を永年務めている。 ・これまで大阪市教育センター教育指導員として、新任や若手教員の指導にあたる。また、現在は、大阪市教育支援センター指導員として、悩みや困難を抱える多くの児童生徒に寄り添い課題解決への支援を行っている。 ・今夏開催される「第 42 回全国大会」における大会実行委員長に人望厚く推挙され、大会の成功に向けてリーダーシップを発揮している。	教科・領域教育専攻 生活・健康系(保体)コース 6 期

### 教育実践研究論文 (奨励賞)

氏名	論文のテーマ	専攻・コース・期
西井 孝明 (三重県)	知的障害特別支援学校における各作業種に対応した作業班別「安全点検確認シート」の開発	障害児教育専攻 21 期
柳瀬 賢佑 (兵庫県)	多忙な中学校現場における教師のリフレクションを促す持続可能な教育実践(研修)の提案 —教師の「対話」に焦点を当てて—	人間発達教育専攻 教育コミュニケーションコース 41 期
伊藤 良介 (兵庫県)	小学校総合的な学習の時間における I C E モデルを活用した自己有用感を高めるキャリア教育の授業改善	教育実践高度化専攻 授業実践開発コース 39 期

## 学長講話

「兵庫教育大学の新しい取組」

兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也 氏

<メモ>



## 教育実践発表（Ⅰ）

「小学校低学年における多文化共生教育の  
可能性と課題」

立命館大学 山田 文乃 嘱託講師

<メモ>



## 教育実践発表（Ⅱ）

「中学校『特別の教科 道徳』の授業設計」

— 初任者指導教員の視点から —

奈良県葛城市立新庄中学校 三宅 康文 指導教員

<メモ>



## 教育実践発表（Ⅲ）

「つながろう湯浅！」

一人と人がつながる家庭教育支援—

湯浅町立山田小学校 長田 和浩 校長

<メモ>



## あなたの力で教育は変わる。

高い実践的指導力を備えた教員の養成に取り組む、  
兵庫教育大学基金へのご寄付をお願いします。



兵庫教育大学基金

HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION FUND

### 兵庫教育大学基金への ご協力をお願い

日頃から、兵庫教育大学の教育研究に深いご理解とご協力を  
賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は、昨年度、文部科学省から教員養成フラッグシップ  
大学の指定を受け、中教審「『令和の日本型教育』を担う教師  
の養成・採用・研修等の在り方について」への対応や教員免許  
更新制の廃止に伴う研修制度の創設など、新たな発展の段階に  
入り、教育研究の益々の発展のため、邁進しているところです。

今回、本学の教育研究活動の更なる充実と活動成果の国内外  
への発信のため、兵庫教育大学基金の中に新たに複数のプロ  
ジェクトを立ち上げました。

皆様におかれましても、本基金の趣旨をご理解いただき、格  
別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也



お申し込みはウェブサイトから ▶  
URL : <https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/>

### 兵庫教育大学基金プロジェクト

#### トータルコミュニケーションサポート事業

～すべての学生がより学べる修学環境の創出～



兵庫教育大学において学ぶすべての学生が自身の個性を發揮することができ、より良く学ぶことができる修学環境を創出するために、障害学生支援室で実施している視覚・障害・聴覚障害学生等への人的・物的支援における「トータルコミュニケーションサポート事業」をさらに強化・充実させます。

#### ミライの教育創造プロジェクト



ミライの教育創造プロジェクトでは、これまでになかった「学習者中心の授業づくり」「インクルーシブ教育」「STEAM教育」「EdTech活用」などに関する先進的な教職科目の開発・改善、そして学生の先進的な学修環境の整備に基金を生かします。更には、開発した科目を全国に普及させます。

## 修学支援事業

～経済的理由で修学をあきらめないために～

### 夢をつなぐ

経済的理由で修学をあきらめないために

経済的理由で修学が困難な状況にある学生への支援を行います。  
意欲のある学生が夢をあきらめないために支援をお願いします。

## 「知の森・アート」の森」事業

～地域と共にある附属学校づくり～



学校図書館を休業日は地域の子ども等も集う「子ども図書館」とし、SDGsの観点の取入れ、STEAM教育の導入、一人1台端末の活用などを通し、読書活動充実、地域と共にある学校(コミュニティ・スクール)を目指します。

## 教材文化資料館収蔵資料のデジタルアーカイブ・プロジェクト

～長岡文雄氏関係資料始め教材文化資料館が収蔵する歴史的価値の高い教材文化資料のデジタルアーカイブ/デジタルギャラリーを構築し、国内外に向けて効果的に発信する～



教材文化資料館において、開館以来10年に亘り収集してきた貴重資料や寄贈予定の長岡文雄氏関係資料をデジタル化し、学術情報リポジトリHEARTを軸としたデジタルアーカイブを構築し、国内外に向けて発信します。

## ご寄附の方法

以下の兵庫教育大学基金ウェブページから、クレジットカード決済/コンビニ決済/インターネットバンキング決済 (Pay-easy) の払込方法により、ご寄附いただけます。  
<https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/>



※その他の方法によりご寄附を希望される場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。  
兵庫教育大学基金事務局 (総務企画課総務チーム)  
E-mail : gen-kikin@ml.hyogo-u.ac.jp

お申し込みはウェブサイトから ▲  
URL : <https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/>

## これまでに実施した支援の例

### 本学独自の修学支援

- |               |  |
|---------------|--|
| ① 授業料の納付時期の延期 | 前期授業料の納付期限を一律 6 月末まで延期<br>後期授業料の納付期限を一律 11 月末まで延期  |
| ② 授業料の一部免除    | 家事事情の急変により、経済的に学業を継続することが困難となった学生を対象に、授業料の一部を免除    |
| ③ 授業料の徴収猶予    | 前期授業料の納付期限を最長 8 月下旬まで延長<br>後期授業料の納付期限を最長 2 月下旬まで延長 |
| ④ PCR 検査費用の補助 | 実習等における PCR 検査の費用を補助                               |
| ⑤ タブレット費用の補助  | 経済的困窮学生を対象に、タブレット端末の購入費用の一部 (3 万円) を補助             |

《学生の声》  
「アルバイトをして学費を払い生計を維持している状況で、すごく悩んでいました。支援して頂いたおかげで、状況も少し落ち着き勉強のために毎日頑張っています。ありがとうございました」

### 食事支援事業 100円弁当の販売

長引くコロナ禍で経済的に不安を感じている学生を少しでも応援したいという「思い」を込めて、「学生にしっかりご飯を食べて元気に過ごしてほしい」、「自棄を余儀なくされている学生の皆さんに、食事を通して旅行気分を味わってほしい」という願いを込めて、「ご当地フェアで旅行気分を味わおう」をテーマに、100円弁当の販売しました。



《学生の声》  
「大変助かります。感謝しています」  
「いろいろな地域のごはんが食べられるので楽しい」

# 令和6年度 兵庫教育大学大学院同窓会総会 第43回全国研究大会【盛岡大会】の概要

- 1 開催日 令和6年(2024年)8月3日(土) 4日(日)
- 2 会場 「サンセール盛岡」(盛岡市志家町1-10 TEL 019-651-3322)

## 3 大会組織

相談役：川村 庸子 (4期 教育方法、38期 教育政策リーダーコース)

委員長：山本 勉 (11期 教育方法)

事務局長：小山 文明 (17期 教育方法)

## 4 開催方法 ハイフレックス方式を予定

## 5 内容

12:00 受付

13:00 同窓会総会

14:00 研究大会

① 開会行事

② 学長挨拶並びに講話

③ 研究発表：「復興教育」

大槌町教育委員会統括教育専門官兼教育政策リーダーコース 准教授 菅野祐太 氏  
(教育政策リーダーコース令和3年度修了)

④ 記念講演

講師：福祉実験ユニット 株式会社ヘラルボニー副社長 松田文登氏

⑤ 閉会行事 (17:00 終了を予定)

※ 終了後、記念撮影

## 6 情報交換会

会場「サンセール盛岡」(17:30~20:00を予定)

## 7 巡検 盛岡市内を散策

## 8 その他

大会期間中は、「盛岡さんさ踊り」(祭り)と重なっておりますので、参加を希望される方は、早めのホテル予約をお勧めいたします。サンセール盛岡は既に他の研究団体の予約で満室となっております。

・盛岡市は、2023年1月12日にアメリカのニューヨーク・タイムズが発表した「52 Places to Go in 2023 (2023年に行くべき52か所)」で、イギリスの首都 ロンドンに続き2番目に紹介されました。記事では、盛岡市を「歩いて回れる宝石的スポット」と高評価。東京から新幹線で数時間で行ける便利さ、大正時代に建てられた和洋折衷の建築美の建造物、盛岡城跡公園、老舗で個性的な店「NAGASAWA COFFEE (喫茶店)」「東家(わんこそば)」「BOOKNERD (本屋)」「開運橋のジョニー (ジャズ喫茶)」などが紹介されています。

・記事の影響で、盛岡市は国内外の観光客で賑わっております。今、注目の盛岡にどうぞお越しください。



## あとがき

同窓生、関係者の皆様におかれましては、令和5年度兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会に、ご多忙のなか全国各地から駆けつけご参加くださいました。心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが第5類に引き下げられたとはいえ、いまだ終息はしておりません。そのようななか感染予防面に配慮しつつ4年ぶりに対面方式で開催しました今回の全国大会です。直面する教育諸課題に正対し教育にかける私たちの使命と果たすべき役割について、共に考え意見交流し合う契機になれば幸いです。

第2代学長上寺久雄先生が指し示してくださった『学心研道』—学ぼうとの意欲をもってどこまでも真理を追究し、教育の道が見えなければ道を探し求め、道がなければ道をつくって進みたいと願います。

また、今回の全国大会は、大阪・奈良・和歌山の3府県で共同開催します。加えて研究発表は一方通行ではなく、参加者の実践を交流し合う時間を少々ですが設けたりもしました。口幅ったい言い方をお許しいただければ、“全国大会の一つのモデル”になれば幸いです。

団結は時間と空間を共有し共に汗するなかに生まれます。全国大会の開催を、多くの同志を糾合し支部・ブロックを活性化させる絶好のチャンスととらえ本日まで努力し頑張ってきました。全国大会を開催させていただいたことに心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、また、本大会を開催するにあたり多大なるご支援をいただきました大学院同窓会の事務局・本部役員の皆様、さらに、大阪・奈良・和歌山の3支部の皆様には厚く感謝申し上げます。

兵庫教育大学大学院同窓会 大阪・奈良・和歌山大会  
実行委員会事務局長 雲井 稔





## 兵庫教育大学大学院同窓会

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1

電話 0795-44-2406 2375

F A X 0795-44-2376

E-mail [office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp](mailto:office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp)